

令和元年 6月期（第65回）番組審議会 議事録（抄）

開催日時 : 令和元年 6月 7日（金）午後 6時30分から 7時18分まで

開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内

委員の出席 : 委員総数 8名

出席委員数 : 8名

欠席委員数 : 無

放送事業者 : 3名

側出席者

開会

局長から令和元年度第1回目の番組審議会の開催宣言の後、理事長から、委任状の交付がなされ、先日6月1日に10周年を迎えることができたこと、沢山の方々に支えていただき、今日を迎えることができ、これからも地域の方々の期待にこたえられるよう、目の前の問題を正面から取り組んでいくという気概を持った放送局としてやっていきたい。また、番組審議機関への協力、お願いがなされた。

次に、出席確認と、先に局長から活動報告がなされた。

次に、担当から6月からの番組改編に伴い担当から新番組の説明がなされた。その後局長から、追加説明として、大きく変わったのが朝の6時からの放送開始で、審議会でもいただいた意見を反映させていただいた。朝の支度をしておられるお母さんなどが、子ども達の声に耳を傾けてもらえる時間になれば。また、夕方の番組イブニング794を2時間から1時間半へ短くしたのは、ラジオは車で聞く機会が多いというご意見を参考に、実際通勤等で聴いていただける時間・エリアを考え、短縮して1時間半にギュッと情報を詰め込んだ方が色々な情報を聴いてもらえるのではないかとということで、短縮した旨の説明がなされた。

次に、会長、副会長の選出について、局からの推薦として、前年と同様、会長に中村基彦氏、副会長に安田秀俊氏にお願いをしたところ異議なく了承を得られ、番組審議に入る。

本日の議事録署名人として、安田秀俊氏と中江学氏に依頼し了承が得られた。

1、番組審議

・議題

「たんご・モーニング・サンド！」（月）

出演 : 坪倉舞

放送 : 6月3日（月）7時30分～8時30分

説明

開局10年を期に朝も変われたらと考える中、週1日はsevaやんが担当してくれるので、

あともう1日をと考えた時に浮かんだのが坪倉さんでした。

初めて会ったのは2年前になります。ケーブルTVでも活躍されておられますし、リポーター講座の際、明るく、すごく意欲的に頑張ろうという姿勢に好感をもちました。ただ、いきなり2時間は大変だと思いましたので、朝の通勤ピーク時間の7時30分から8時30分の1時間からスタートしようとお願いをしました。最初は、断ろうかと考えていたようですが、色々話をしていく中で、頑張ってみようという気持ちになってくれて、1ヶ月間練習を重ね、エンジニアをしながらしゃべる形で6月3日にデビューすることができました。

番組意見

- ・かわいい声ですね。
 - ・初めてという事でドキドキしながら聴かせてもらいました。朝にあいますね。
 - ・生放送の緊張が伝わってきました。原稿を読むところは同じ調子で読んでおられ、少し語尾があがっていることもあり、頭に入ってこなかった。ただ、緊張されていたと思うので普通のトークの所はトーンが少し下がっていたので、よいのでは。
 - ・回数こなすことですね。10年されてきた方と比べられない。
 - ・親の気持ちで聴いてしまう。
 - ・第1回目は、何回も何回も練習して臨みましたので、本番は、時計も見る余裕があったようです。ただ、大変なのはこれからだよ、という事は言っております。
- 1ヶ月教える中で、甘えはいけないと思い、私たちと同じようにエンジニア兼パーソナリティでスタートしましたし、一切原稿作成はせずパンフレットやチラシを見て伝えることを教えました。原稿を作ってしまうとそれに頼ってしまいますし、作る時間もかかります。少しレベルを上げてスタートしましたが、それもこなしてくれています。若いこともあり覚えは早いです。教えがいがあります。今後は本人次第で時間延長も考えたいと思います。
- ・坪倉さんを皮切りに若い方で私もしゃべってみたいとおもってくれる人が増えればいいですね。
 - ・いい経験になると思いますね。ただ情報を伝えるだけではなく、自分の思いも伝えたり、また色々レポートをされているので、見たり聞いたりしたことをラジオで伝え、ゆくゆくそれがまたリポーターの仕事に何か繋がればよいと思っています。
 - ・どんどん続けていただけたら。
 - ・もう少し抑揚があった方がよいですね。一本調子なところがありますね。
 - ・慣れればもう少し感情が入ってくるのでは。

以上、意見有（抜粋）

審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特になし

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

- ① 当局事務所内に掲示
- ② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他参考事項

特になし